

青森県立北斗高校 対 東京都立砂川高校

■試合時間 2時間22分 ■備考

■審判 球審：末柄 塁審：原田 遠藤 鹿野

[illegible]

砂川

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
金井孝憲
原優輝

捕手

捕手
横 田 努

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
金 井 孝 憲	3	18	3	5	5	1
原 優 輝	5	22	4	5	5	2

北斗

[illegible]

備考

■ バッテリー

投手
松井宏樹
松浦勇樹

捕手

捕手
松浦 勇樹
澤谷 康生

■ 投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
松 井 宏 樹	5	24	5	5	5	3
松 浦 勇 樹	4	12	0	3	0	0

■戦評

2回戦大田スタジアムの第1試合は、1回戦を共にコールド勝ちに勢いに乗る青森県立北斗高校と東京都立砂川高校の対戦となった。先攻の砂川は初回一死二塁の好機を作ると3番望月が右中間へ適時三塁打を放ち4番並木も中前適時安打で続き2点を先制する。3回にも5番横田の右前適時安打で1点を追加した砂川に対し北斗はその裏先頭の2番木頭が二塁打で好機を作ると3番工藤の右前適時安打で1点を返す。二死後四球で一二塁とすると適失と二つの暴投で同点に追いつく。4回北斗は先頭の1番渡邊が四球で出塁し一死後3番工藤の打席で暴投の間に一拳三進し好機を広げると内野ゴロの間に生還し1点を勝ち越す。砂川は5回4番並木がこの試合2本目となる適時安打を放ちすぎたま同点に追いつきそのままた試合は終盤へ。7回北斗はこの試合2番手で救援し好投を続ける6番松浦が左翼越の三塁打を放ち相手の中継が乱れる間に生還し1点を勝ち越す。松浦はその後も砂川打線の試合一手の走者も出さない完璧な投球を見せこの1点を守りきった北斗が5-4で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた砂川は二度失策の間に得点を許すなど要所で守りにミスが出たしまい無念の敗戦となった。